



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	横浜幸銀信用組合	階数	地上7F
建設地	横浜市中区尾上町5-77-1	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	140人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年10月 竣工	評価の実施日	2019年9月3日
敷地面積	787 m ²	作成者	積水ハウス(株)
建築面積	467 m ²	確認日	2019年9月3日
延床面積	2,906 m ²	確認者	積水ハウス(株)



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	地上部・屋上部にできるだけ多くの植栽帯を設け、敷地建築物の植栽条件に応じた緑地づくりを行うなど環境に配慮した。	その他 特になし
Q1 室内環境	複層ガラス採用、断熱材強化により外皮性能を上げるなど、温熱環境に配慮。ブラインドや庇を採用し、光・視環境に配慮。また、F 建材を全面的に採用し、空気質環境にも十分配慮している。	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	断熱材、Low-E複層ガラス等により建物の熱負荷を抑制している。LED照明を採用し、設備システムの高効率化に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内)
LR2 資源・マテリアル	自動水栓などの省水型機器を用いるなど、水資源を保護している。ノンフロン断熱材を採用するなど、汚染物質含有材料の使用を回避している。OAフロアを採用するなど、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	LR3 敷地外環境

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(~)を示し記述してください。

建物名称 **横浜幸銀信用組合**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **3**

省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **22** %削減



一次エネルギー消費量基準	適合
外皮基準	適合

受付日 2018年3月26日

エネルギー対策 (建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用 設備システムの高効率化 効率的運用)

BPI_m = 0.72、建物の断熱を適正に配し、外壁や窓を通しての熱負荷に配慮

BEI_m = 0.78、LED照明の積極的な採用など省エネルギーに関わる対策を実施

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 **3**

室内環境対策 (温熱環境対策 光環境 空気質環境)

昼光率を高めに設定し、光・視環境に配慮

F 建材を全面的に採用し、空気質環境に配慮

機能性対策 (機能性 知的生産性向上の取組)

室外環境(敷地内)対策 (敷地内温熱環境の向上)

緑地や日陰による温熱環境の向上に配慮

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

耐用性・信頼性 (耐震・免震 部品・部材の耐用年数向上 信頼性)

補修必要間隔の長い配管材を採用し、建物の耐用性に配慮

非常用発電機、無停電電源設備を採用、通信設備の多様化など建物の信頼性に配慮

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **3**

室外環境(敷地内)対策 (生物環境 まちなみ・景観 地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入	
